

# 進路だより

第1号

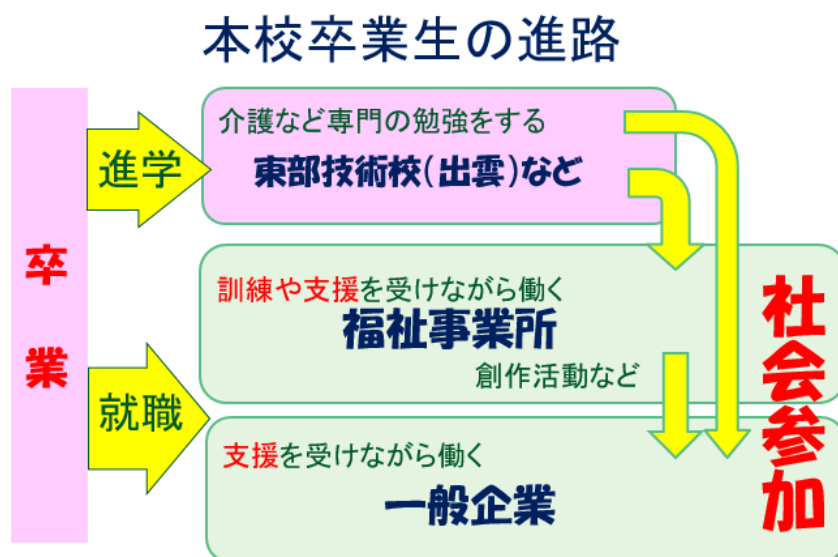
令和3年5月7日  
隠岐養護学校  
進路指導部（文責：水野）

進路だよりでは、本校で行う現場実習についてや、進路に関する相談会・研修など、進路に関する取り組みについてお伝えしていこうと思います。第1号は、「本校高等部卒業生の進路」「現場実習」についてお伝えします。

## 本校の高等部卒業生の進路について

本校高等部卒業生の進路についての流れは概ね右の図のようになります。

卒業後は隠岐で就職する生徒がほとんどですが、島外での就職や進学をする生徒もいます。いずれにしても、最終的には社会の一員としての役割を果たすことを目指して、福祉事業所や企業で働くこととなります。



## 現場実習について

現場実習とは、一般企業や福祉事業所で行う職場体験のことです。本校では、生徒の実態に合わせて中学部と高等部で実習を行っています。また、学部や学年によって現場実習の目的を変えています。

- 中学部や高等部1年では、働く経験をするを目的としています。
- 高等部2年では、自分に合っている仕事は、どのような仕事か考えたり、見つけたりすることを目的に、いろいろな職場を経験します。
- 高等部3年では、自分の進路先を決めることを目的としています。

生徒の実態に合わせて目的が変わることもありますが、概ねこのような予定で現場実習を行います。また、実習先から指摘された課題やアドバイスを日々の学習に活かして働くための力を高めていきます。

実習先については、本人の希望も考慮しながら実習先を決めています。

現場実習は、学期に1回実施しています。6月、9月末～10月上旬、1月に実施する予定です。高等部3年については、必要に応じて実習を行います。新型コロナウイルスの感染状況により、実習を延期したり、変更したりすることもありますのでご了承下さい。